

令和4年5月16日

報道機関各位

公益社団法人 福井県観光連盟
担当：松尾、野路、林
電話：0776-23-0182
E-mail: info@fuku-e.com

福井県観光連盟「観光地域づくり推進事業補助金」の採択について

(公社)福井県観光連盟では、北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向け「稼ぐ」観光地域づくりを加速するため、観光アクティビティ・スーパーバイザー(松尾 章子)の指導・助言のもと、「体験・アクティビティの新コンテンツ開発」の事業を支援することとしております。

当連盟では、今回、越前海岸に多く生息する「ウミウシ」に特化したアクティビティ観光コンテンツを開発する下記団体の事業について、当補助金を採択することとしました。

団体名	事業名	交付決定金額
えちぜんログ (株)三田村建設	海の宝石「ウミウシ」の宝庫「越前海岸」観光コンテンツ創出事業 ～ウミウシとの出会いの旅を創る～	5,335,000円

当連盟としては、地域連携DMOとして、今後も、新たな観光事業を展開する民間事業者等への支援を行ってまいります。

※観光地域づくり推進事業補助金(Ⅱ.「宿泊」「食」の地域資源の活用によるブランド力向上、先駆的な「体験」「アクティビティ」コンテンツの新規開発モデル)の概要

補助対象：福井県内に所在し、観光地域づくり新たに展開する民間事業者等

補助内容：ソフト事業について、補助対象経費の1/2以内を補助

(最大で2,000万円の事業に対し、1,000万円を補助)

対象事業：集客力確保や滞在型観光につながる「宿泊施設」「食」と本県固有の地域資源を掛け合わせた尖ったコラボレーションのモデルを構築、または、先駆的な「体験」「アクティビティ」のプログラムのモデルを構築

(参考) 観光事業者等の概要

○えちぜんログ ((株) 三田村建設)

- (1) 代表者 代表(代表取締役) 三田村 勉
- (2) 活動 国道305号線の日本海に面した越前海岸国定公園に位置し、自然環境ゆたかな5,000㎡の敷地において、ダイビング、宿泊・飲食、カフェなど幅広い観光事業を展開中。素晴らしい越前の海、自然、歴史、文化を後世につなぎ、一人でも多くの方に伝え、未来のストーリーを作り上げていくことを使命としている。
- ※ () 名称の建設事業は現在行っていない。
- (3) 事業名称 海の宝石「ウミウシ」の宝庫「越前海岸」観光コンテンツ創出事業 ～ウミウシとの出会いの旅を創る～
- (4) 事業内容 300種以上のウミウシが生息している越前海岸において、ウミウシの専門的知見とエンターテインメントの両角度から、外部専門家による現地指導・セミナー等を通じた専門ガイド人材の養成や、デジタルパンフレット・プロモーション動画・ガイドブック製作等によるコンテンツ力強化により、次年度に向けたウォッチングツアー、チャレンジ100(100種発見イベント)、陸上観察・出前授業など尖った新アクティビティを開発し、越前海岸をウミウシの聖地化することにより、全国からの観光誘客を図る。
- (5) 事業期間 令和4年5月18日～令和5年3月10日

○ウミウシと越前海岸について

ウミウシとは貝殻を捨てた貝で、個体ごとに個性豊かな色合いをもち、小さいながらも海の中でひときわ輝きを放つ存在で、その姿から「海の宝石」と呼ばれ、ダイバーから大人気の水中生物。

ウミウシと呼ばれる理由として有力な説は、頭部に生えている一対の触角が、まるで牛の角のように見えること。

全世界で5,000～6,000種にのぼると言われており、日本の海では学名がついているウミウシだけで約1,200種が生息し、まだ正式な名前のない「未記載種」を含めると1500種ほどが確認されている。越前海岸には約300種と多くの種が生息していることから、ウミウシの専門家である中野理枝氏(NPO法人全日本ウミウシ連絡協議会理事長、琉球大学講師)が高い関心を持っている。

越前町では、越前ガニミュージアム館長の山口渡氏は、今後、越前ログとの連携のもと、ウミウシ企画展等を開催したい考え。

(参考)

越前海岸のウミウシ (撮影: えちぜんログ)



クリヤイロウミウシ



センヒメウミウシ



シラユキウミウシ



アオウミウシ



コモンウミウシ



トモエミノウミウシ



ミズタマウミウシ



ツマグロミノウミウシ



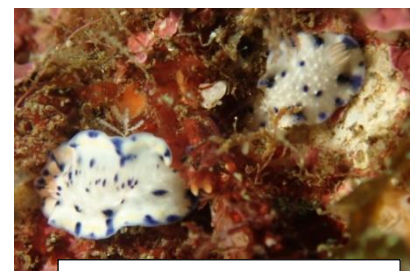
アカボシウミウシ



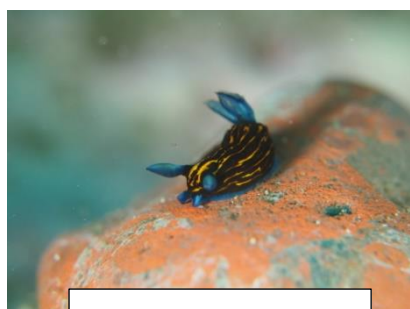
ピリカミノウミウシ



シロホクヨウウミウシ



サガミイロウミウシ



リュウグウウミウシ



フジイロウミウシ



セトミノウミウシ